

製品名: カベオリン-2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86858

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:18 kDa; Observed MW:18 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caveolin-2
別名	CAV
遺伝子 ID	858
SwissProt ID	P51636
免疫原	ヒトカベオリン2の合成ペプチド

背景

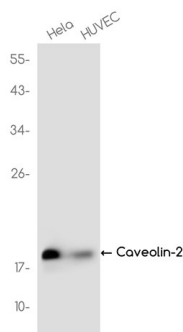
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞膜の小さな陥入部であるカベオラの内面の主要成分であり、シグナル伝達、脂

質代謝、細胞増殖制御、アポトーシスといった重要な細胞機能に関与している。このタンパク質は腫瘍抑制因子として機能する可能性がある。この遺伝子と関連ファミリーメンバー（CAV1）は7番染色体上に隣接して位置し、共局在するタンパク質を発現して安定したヘテロオリゴマー複合体を形成する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。また、代替的なインフレーム翻訳開始コドンの使用によって生じる追加のアイソフォームも報告されており、細胞内で優先的に局在することが示されている（PMID:11238462）。[RefSeq 提供、2011年5月]

研究分野

-

画像データ



Caveolin-2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、HUVEC 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。